

## 中間評価報告書

令和6年9月6日(金)

研究種別	一般研究	
研究課題名	クニマスの保全と養殖に関する研究	
研究期間	令和4年度 ~ 令和8年度	
	評価項目	評価点
1	研究計画の進捗度及び今後の研究計画の妥当性	4.0
[評価所見] 着実に成果を挙げている。各委員ともにモニタリングカメラの故障について、懸念を示しているところ。保全を進める上で早期の復旧が必要である。 今後の研究計画の妥当性については、保全研究ではモニタリングデータの蓄積と評価が活かされていること、養殖試験では低温親魚飼育の成功もあり、今後もそれらを着実に進めていくことにより、計画は順当に進んでいくものと見込まれる。 総合コメントも同様で、このまま継続的に発展させることで、課題の解決につなげてほしい。なお、繰り返しになるが、モニタリングカメラの早期復旧に努めてほしい。 また、解析すると面白そうなデータもたくさん出ている。それらを専門家と深めていけば、学術的にも興味深い成果が出るのではと思う。		